

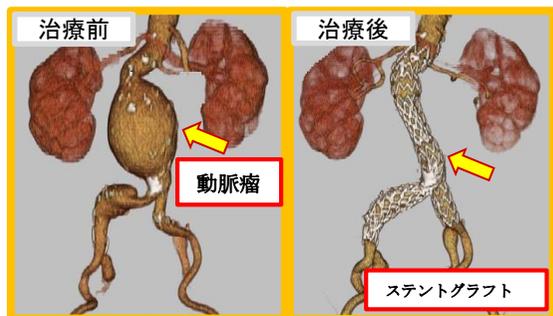
血管外科

当院の外来で診察が可能です

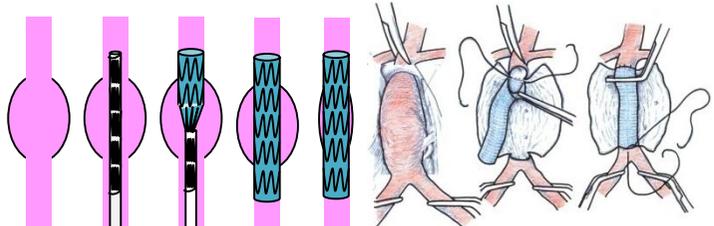
血管外科の担当する専門領域は大動脈瘤、閉塞性末梢血管病変、血管病変、静脈疾患と多岐にわたっています。最新の治療を積極的に取り入れ、患者さんに優しい医療の実践を第一に考え、診療に取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

血管外科で取り扱う代表的な疾患と治療
カテーテル治療や外科手術など、患者さんの病態に応じた治療法の選択を行います。

腹部大動脈瘤



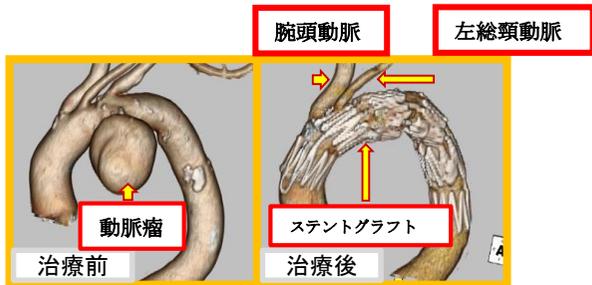
積極的に**ステントグラフト**治療を取り入れています。その他、従来通り開腹**人工血管置換術**を行っています。



ステントグラフト治療
細く折り畳んだバネ付き人工血管を挿入し血管内から動脈瘤にフタをします。

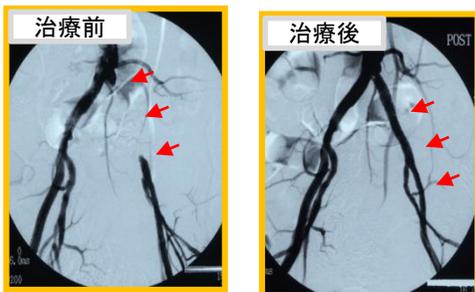
人工血管置換術
動脈瘤を切除し、代わりに人工血管を針と糸で縫い付け血流を確保します。

胸部大動脈瘤

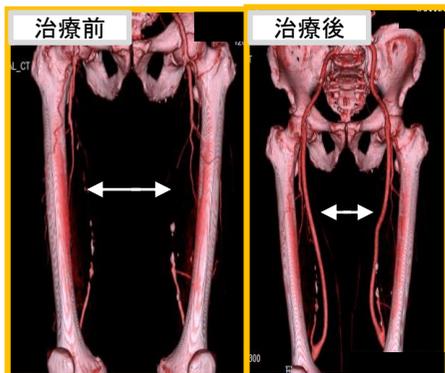


胸部大動脈瘤に対しても積極的に**ステントグラフト**治療を取り入れています。頸部分枝を温存して留置。

閉塞性末梢血管病変



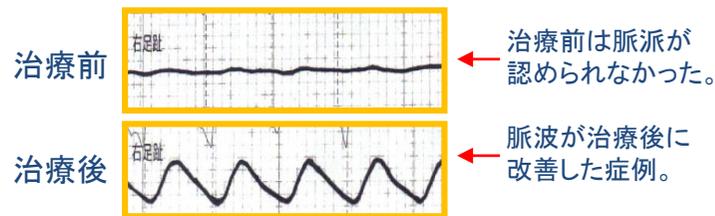
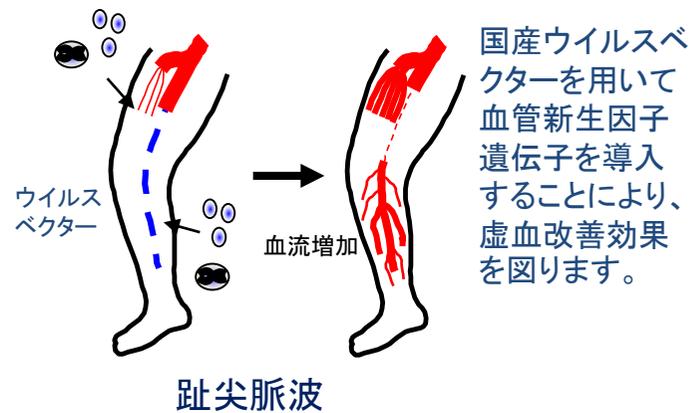
歩行時の痛み症状は低侵襲な**カテーテル治療**により改善し、翌日退院します。



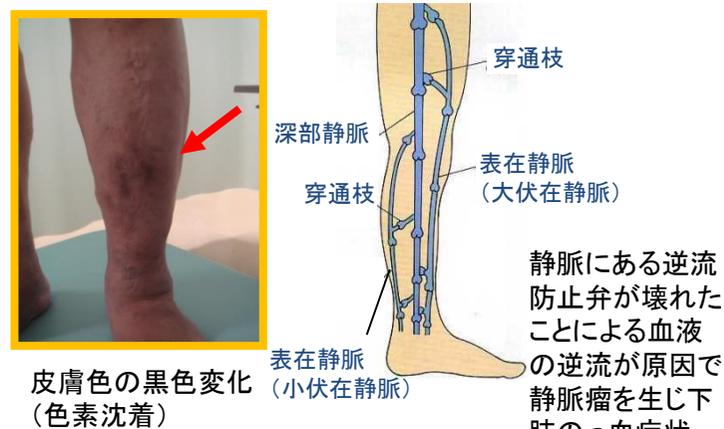
カテーテル治療の適応がない場合は、**バイパス手術**を行い症状が改善します。

その他の治療法

・血管新生遺伝子治療適応検討



・下肢静脈瘤手術



皮膚色の黒色変化 (色素沈着)

静脈にある逆流防止弁が壊れたことによる血液の逆流が原因で静脈瘤を生じ下肢の腫れ、かゆみ、皮膚色変化などを伴います。